

11月3日

漁の安全と豊漁を願う 第45回ししやも祭

アイヌ伝承儀式「第45回ししやも祭」がウレシパチセと茶路川河畔広場で行われ、約90人が参列しました。始めにウレシパチセでカムイノミが行われた後、会場を茶路川河畔広場に移し、ヌサオンカミとイチャルパの儀式が行われました。続いて、白糠アイヌ文化保存会や様似民族文化保存会などが古式舞踊を奉納し、ししやも漁の安全と豊漁を願いました。



ウレシパチセでカムイノミ（神への祈り）を行う関係者

11月4日

帯広市のチーム「キャプテンヒラタコ」大会新 白糠釧勝峠・町駅伝競走大会

第33回白糠釧勝峠駅伝大会・第50回町駅伝競走大会が国道392号を主なコースとして開かれました。白糠釧勝峠駅伝大会は13チームが出場し、白樺学園高校Aが優勝。町駅伝競走大会は小学生の部に5チームが出場し「白糠陸少！サクラマス」が優勝。高校・一般の部には11チームが出場し、帯広市のキャプテンヒラタコが大会新記録の30分46秒で優勝しました。



アンカーにたすきをつなぐ「白糠陸少！サクラマス」の選手



ボードゲームを楽しみながらSDGsへの理解を深める参加者

10月28日

ボードゲームでSDGsを考える 環境衛生指導員研修会

町環境衛生会環境衛生指導員研修会が役場で開かれ、参加者20人がSDGsを自分ごととして捉える「サステナブル・ワールド・ボードゲーム」を体験しました。同ゲームは、未来技術推進協会が開発したゲームで、プレイヤー同士が協力しながらミッションをクリアし、SDGsの17の目標を達成させるもの。参加者はゲームを通して、SDGsへの理解を深めていました。



数々の名曲を演奏する和光さん（左）と長尾さん（右）

11月3日

美しいハーモニー聴衆魅了 バイオリン&ピアノ名曲コンサート

町芸術文化鑑賞会「バイオリン&ピアノ名曲コンサート」が社会福祉センターで開かれました。株式会社オカモト所属のバイオリニスト和光憂人さんとピアニストの長尾崇人さんが出演し、葉加瀬太郎の「アナザースカイ」など8曲を演奏しました。アンコールでは中島みゆきの「銀の龍の背に乗って」など3曲を演奏し、約60人の聴衆を魅了しました。

10月27日

練習の成果競う サンアリーナしらぬか水泳大会

オカモト主催の「サンアリーナしらぬか水泳大会」が町温水プールで開かれ、町内のほか帯広市や池田町、音更町などから小中高校生43人が出場し、自由形や背泳ぎ、平泳ぎ、バタフライ、個人メドレーの種目を距離別で競いました。競技後は、2018年アジア大会金メダリストの坂田怜央さんによるスイムクリニックが行われ、参加者がトップレベルの泳ぎを学びました。



大会に参加した選手全員で記念撮影

10月26日

自身の健康状態を確認 第19回健康まつり

健康意識を高める「第19回健康まつり」が社会福祉センターで開かれ、多くの町民でにぎわいました。会場には脳年齢チェックや血圧測定などのコーナーをはじめ、明治安田生命による血管年齢・骨密度測定、道東乳がん患者会「シャイニーピーチ」による乳がん触診モデル体験、食生活改善協議会によるサバ缶スープの提供などのブースが設けられ、来場者は各ブースを回って自身の健康状態を確認していました。また、この日は健康づくり講演会も行われ、杏林大学名誉教授の古賀良彦氏が「食事と趣味で楽しみながら脳を活性化」と題して講演。古賀氏は「ちょっとした工夫で気軽に脳トレができるので、楽しみながら毎日こつこつとやってほしい」と話しました。



雨の中植樹したクラブの会員(上)

10月19日・31日

きれいに咲くように ロータリークラブ植樹

白糠ロータリークラブ（森武人会長）と釧路ベイロータリークラブは19日、乳呑自然公園でエゾヤマザクラの植樹を行いました。植樹は昨年からの3カ年計画で、今年は両クラブの会員16人が4本の桜を植えました。また、白糠ロータリークラブでは、新1年生に記念品を贈っており、31日に教育委員会を訪れ、記念キーホルダー59個を川島眞澄教育長へ手渡しました。



12 医療講演会で古賀氏は、左手で書く文字は鏡になるように、両手で同時に平仮名を書く「鏡文字」や、両手をかざし、右親指を曲げた状態から「1、2、3」と順番に両手の指を1本ずつ曲げていく「遅れ指折り」などの脳トレを紹介しました。3 健康まつりの会場は、多くの町民でにぎわっていました。45 イスに座ったまま、音楽に合わせて体を動かすゲームや運動のコーナーも人気を集めていました。